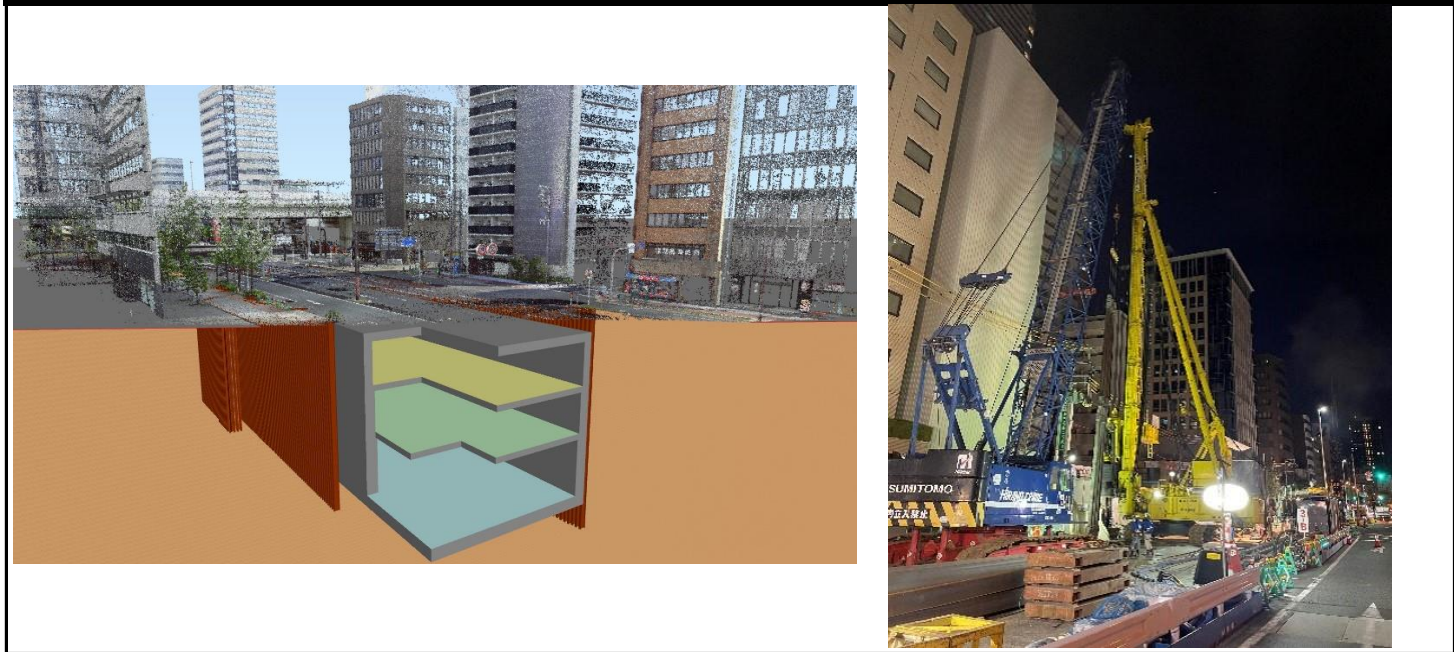


| | | |
|---|----|------|
| ○ | 現場 | 事務所内 |
|---|----|------|

地下鉄工事の職場環境を改革を目指して



取 組 み 内 容

なにわ筋線西本町駅作業所では、昼夜間の工事現場での職員の健康とワークライフバランスを重視するために、DXとIoTを積極的に導入し、労働時間の見直しや長時間労働の改善に取り組んでいます。具体例として、安全書類の電子化や新規入場者教育のクラウド受講による省力化を実施しています。また、現場管理ではクラウドカメラサービスを活用し、スマートフォンやタブレットなどのデバイスから現場の状況を確認しています。迅速な情報共有や意見交換を行うために、ビジネスチャットツールなどのICT機器を活用し、業務の効率化を図り生産性を向上させています。

さらに、地域住民の方々の説明会や見学会で、一般の方にもわかりやすくイメージができるように3D動画を作成し、各種協議や関係者間の円滑な理解を得るためのコミュニケーションツールとして活用し、意志の疎通を図っています。

また作業所支援組織を立ち上げ、BIM/CIMに精通した専門スタッフが3Dモデルの構築や作業所におけるデスクワーク負担を軽減し、現場における施工管理業務に専念できる環境を整備しています。

効 果

DX・IoTの活用による業務時間短縮
安全書類をクラウド上で管理するツールを導入し、毎日の書類作成にかかる時間が約40分から10分へ短縮出来ました。以前は各協力会社から内容を聞き取り、職員がとりまとめ入力していましたが、双方から入力・チェックが可能になり、毎日約30分の時間短縮の効果が出ました。

3D動画の作成
工事の進捗に合わせ、動画の内容を編集・更新し、現場に設置したデジタルサイネージへ投影しています。特に地域住民の方々が動画を見るために足を止めている様子から、工事への関心・理解が深まっていると感じます。

留 意 事 項 / そ の 他

毎日、20枚弱になる安全書類を紙に印刷し検印していますがペーパーレス化・電子検印の導入で更なる時間短縮に取り組みます。